

令和3年度 南房総市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和3年11月26日(金) 午後4時05分開会～午後5時15分閉会

2 場 所 南房総市役所本庁舎 2階第2会議室

3 出席者 市長 石井 裕
教育長 三幣 貞夫
教育長職務代理者 小宮 忠
委員 岡崎 俊明
委員 庄司 美佳
委員 石井 美智代

4 事務局 教育次長 水島 孝夫
参事 安田 道明
教育総務課長 庄司 武史
子ども教育課長 長谷川 鶴人
生涯学習課長 加藤 勉
教育総務課課長補佐兼総務係長 福原 正人

5 開 会 水島教育次長が開会を宣言

6 市長あいさつ

7 協議・調整事項

コロナ禍又はコロナ終息後における学校教育について

・安田参事が配布資料の概要について説明。

(自由討論)

小宮教育長職務代理者

小学校で、月曜日から金曜日まで毎日6時間授業となっていると思いますが、以前は1日5時間授業の日が多くあったと記憶しており、現在では枠が一杯になってしまっている直接の要因というのは、外国語教育が増えたこと等によると思いますが、それらを踏まえた上で1日5時間授業の日を週2～3日程度作れないかということなのでしょう

が、法的には問題ないのでしょうか。

安田参事

夏季休業の日程を数日短縮したり学校行事に関連する時間を精査し、授業に充てる時間を生み出すことで対応は可能だと思われます。

三幣教育長

1日5時間授業の日を作るためには教育課程の見直しが必要です。例えば運動会の準備や練習等に膨大な時間がかかっていたりするので、各学校で特別活動等に対する時間に上限を決めて取り組むことにより効果が出るのではないかと考えています。他に教育課程外でも時間を使うことがあるようなので、安易に夏休みを短縮するのではなく、その前にこれらの時間の使い方の見直しを行う機会にもしたいと考えています。

岡崎委員

教育課程外の時間は中学校でいうと部活動などが該当するのかなと思いますが、小学校ではどのようなものがあるのでしょうか。一部、運動会の準備や練習等も含まれるのではないかと考えられますが、運動会が盛り上がり、それによって児童同士の仲間意識の強化や学校愛が強くなったりという良い面もあると思いますが、兼合いが難しいところだと考えます。

三幣教育長

本来、外国語活動を2時間増やしたとすると、どこかを2時間削らなければならないのではないかと思います。学校側で教育課程外の時間を削らないと教職員や子供達の負担が大きくなっていく状況にあると考えます。

例えば、南房総市では毎週月曜日は部活動を行わない日となっていますが、月曜日を5時間授業の日とした場合に、6時間目の時間帯に英語検定の講座やプログラミングの講座を実施することも可能になるということも想定はしております。

石井市長

小学生の中には授業が終わると学童に行く子もいると思いますが、1日5時間授業の日は、6時間目の時間帯から学童に行くことになるのですか。

三幣教育長

放課後子どもクラブというものを午後4時30分から5時30分の時間帯に各小学校で実施していますが、授業が終わった3時30分から放課後子どもクラブが開始される4時30分までの時間を友達同士で過ごすことが楽しいので放課後子どもクラブに参加を希望するという児童が多くいます。1日5時間授業の日を設けたからといって学童の開始時間を早めるというようなことは特に考えてはおりません。

庄司委員

嶺南小の放課後子どもクラブの世話係をやっていますが、子ども達は宿題を一生懸命に終わらせて家でやることを少なくし、残った時間を自分達で考え、友達同士で校庭で運動をするなど楽しんでいるようです。

三幣教育長

一部の子供達かもしれませんが、学童は自由度が少なく行儀良く過ごしていなければならぬ空間なので不満を持っているようです。

石井市長

学童の時間を子ども達にとって魅力ある時間として質を高める必要があるのかもしれませんが。

石井委員

学童は4年生までだと思いますが、学年が上がるにつれて子ども達も自由度を求めているように思います。

三幣教育長

学童の質を高めるためには、指導員の人数を増やすことや指導員の質を高め、ある程度のプログラムを用意して対応することによって、子ども達の不満も多少解消されるのではないかと考えます。

石井市長

子ども達が魅力を感じて、学童にいて良かったと思えるように質を高めるということが課題だと思います。

石井委員

放課後子どもクラブに参加していない児童の中には、通学路を歩くこともなく友達と遊ぶこともなくスクールバスに乗ってそのまま帰宅してしまう児童もいると思いますので、その時間をもっと有効に使うことができればと思いますが。

三幣教育長

ある地域の学校では徒歩通学の児童が少なくなってきており、スクールバスで通学することによって運動量が減少し、家に帰っても近所に子どもが少ないため友達と外で遊ぶ機会も少ないことから、1日5時間授業の日はこのような事にも効果が期待できると考えます。

小宮教育長職務代理者

スクールバスの運行は、1日5時間授業の日であっても6時間授業の日と同じ時間帯での下校便運行とするのですか。

安田参事

基本的には、1日5時間授業の日であっても直ぐにスクールバスを運行させて帰宅させるのではなく、6時間授業の日と同じ時間での下校便運行を考えています。

岡崎委員

中学校では放課後に英検対策などで外部講師を派遣して学習講座を行っており、とても良い取り組みだと思いますが、1日5時間授業の日が増えて学習講座の回数を増やすとすると経費も増加してしまうと思いますが大丈夫ですか。

三幣教育長

普段の英語の授業だけでは難しいので、特別に指導をしてもらうための講師を誰に依頼するかという問題もありますし、回数を増やせば費用は増加することになると思います。

石井市長

小学校で英語を教えるようになり、小学校で学ぶ英語はどの程度のレベルまで学ぶのですか。

庄司委員

小学校5年生の段階で、簡単な英語文章のワークシートのようなものが宿題で出されています。

石井市長

以前中学校1年生で習っていたレベルの内容の一部を小学生のうちから学んでいるということですね。

庄司委員

どこまで英語を理解できているかは分からない部分がありますが、中には英検3級用の英単語集を勉強している児童もいます。

石井市長

家庭によって差があるとは思いますが、学校での英語の授業は基本的に小学校から中学校まで一貫性や連続性がある程度、ある程度のレベルまでは小学校で学んでいるという前提で中学校1年生の授業が行われるということですね。

安田参事

新しい学習指導要領になり小学校3・4年生が外国語活動といって英語を使った歌や挨拶などを学び、5・6年生から外国語科という教科となり読み書きなどの学習となります。昔は中学1年生から始めていた英語を小学校5・6年生から学び始め、中学校ではその延長の内容から学び始めるということになります。

石井市長

小学校から英語を学び始めて中学3年生になった時に、以前の中学3年生と比べて英語の能力が確実に向上しているのかということもあると思いますが。

安田参事

指導者自身も勉強しなければなりません、単なる詰め込み教育ではなく自ら英語をもっと学びたいと思える子どもをどれだけ育てることができるかということも大切であると思いますので、小学校から学び始める際の指導がとても重要になってくるのではないかと考えます。

三幣教育長

小学校で英語を教える際に特別な資格は不要で、基本的には学級担任が指導します。その学級担任の英語力や取組内容によって違ってくると思いますが、どのように指導したら良いかなど教員の指導力を高めるための研修などを行う時間がない状況であるため1日5時間授業の日を設けることにより教員の研修時間の確保にも繋がります。

子ども達の問題だけではなく教員の勉強する時間がないということは、5年10年経過したときに非常に大きなダメージとなってくるのではないかと心配しています。

石井委員

タブレットを1人1台配置していますが、どの程度活用できているのでしょうか。例えば、先生が行っている丸つけ作業や児童1人1人の傾向と対策などをタブレットに任せることによって、それらの時間を先生が有効に活用できないでしょうか。

安田参事

児童1人1人の課題など、タブレットを通して作成・管理したりしています。

石井市長

英語の授業ということで関連して、小中学校での英語教育にALTを配置していることによる影響というのはいかがでしょうか。

安田参事

10月から11月にかけて、市内6中学校6人のALTのうち5人が新しくなりました。英語の授業を外国人の方に指導していただけるというのはネイティブな発音を生で耳にすることができるなど非常に重要であると思います。現在の児童生徒達は昔と比べて外国人に対する抵抗が少ないように感じます。

岡崎委員

日本人英語教師の能力にもよると思いますが、ALTには授業のどの場面で加わってもらって何をやらしてもらおうのかという事をしっかりプログラム化している授業であれば良いのですが、ALTに全て任せてしまっている授業では子ども達の力は伸びないので

はないかと思います。日本人英語教師とALTとの間で、前もって授業の段取りについて打合せや確認を十分に行っておくことが重要であると感じました。

庄司委員

外国語授業が増えたことにより空き時間が不足しているということですが、例えば算数の授業を英語で行うなど、英語に慣れ親しんで如何に自信を持って英語を話すことができるかということが重要なのではないかと思います。

三幣教育長

そのような取り組みは高校では実施しているところもあるようですが、小学校の英語は国語・算数・社会・理科の部類か音楽・図工・体育の部類なのか英語の先生に伺ったところ音楽や図工など技能教科の部類であるとのことで、その辺を踏まえて授業を行っていかねばならないとのことでした。

岡崎委員

小学校でも英語に限らず教科担任制が導入されることになりますが、そうなれば教員の持ち時間に少し余裕が出てくるのかと思いますが、そちらに向けた動きなどは何かありますか。

安田参事

学校現場では特にありませんが、それを独自に試行的に行っている学校は安房管内にあります。

岡崎委員

教科担任制が導入されると教員が増えることになるのですか。

三幣教育長

専科教員を増やすことになりますが、英語や数学などに特化しないでやってもらいたいというのが学校現場の希望で、専科教員1人のところを2人にしてもらえれば学校内の状況によって活用の幅が広がると思います。

岡崎委員

教員数を増やしていただくことが重要ということになる訳ですね。

三幣教育長

他に、危惧していることとして中学3年生だと英語が週4時間に対して国語の時間は週3時間という状況であり、日本語の授業の時間が少なくなっていることについて問題があるのではないかという思いがあります。

石井市長

新年度に向けて予算的に可能かどうかということについては、本人の意欲や成熟度によって、習い事の範囲で小学生レベルまで広げていければと考えています。

三幣教育長

例えば、中学校の授業を5時間授業にすると、2時半から2時間だけ部活動を行い、4時半からインスクールを行うというような取組みも可能になってくるのではないかと思います。

小宮教育長職務代理者

意識を変えなければならないと思います。意識というのは中々変わらないと思いますが、例えば運動会の例でいうと総練習というのはやらなければいけないという思いがあったが、雨で総練習ができない時があった。それでも運動会は無事に開催できたというようなことがありました。

石井委員

千倉小は良いモデルになると思うのですが、総練習が無くて学年の種目が決まっているので、次の学年に進学したら子ども達もやることを認識しているため、総練習が無くても開催できている。

三幣教育長

個人的に運動会の予行演習には疑問に思う部分があり、子ども達に運動会に対する新鮮さが無くなってしまっているのではないかと、良い意味でいうと安心感があるのでしょうか。

小宮教育長職務代理者の言うとおりに、今までやってきたことに疑問を持って精査することによって1日5時間授業の日を作り上げていくことができると考えています。

小宮教育長職務代理者

過去に旧和田町が文部科学省から研究指定校に指定されて、カリキュラムは全て学校で作成するというような研究内容だったと記憶していますが、現在はそのような制度はないのでしょうか。

三幣教育長

研究開発でしか認められていないのではないのでしょうか。

小宮教育長職務代理者

市独自に研究開発ということで、各学校で1日5時間授業の日を週2～3日設定するための案を持ち寄り研究開発してもらい、先生方の意識を変えることや実際にどこまで対応可能なのかというようなことができればと考えたのですが。

三幣教育長

総合的な学習の時間が70時間あり、4分の1である18時間程度までを学校外学習活動とすることができるので、その中で南房総市独自の教育内容を展開することができるかもしれません。

先日、市の総合計画会議の中で農業を体験していない子ども達がいるという話が出ま

した。富山中では職場体験2回のうち1回は全員が第1次産業を体験することとしており、南房総市で生活する上で全員が第1次産業を経験することも必要ではないかと考えています。

岡崎委員

そのような体験活動等を普段の学校がある日に行うのではなく、夏休み期間に行うことによって授業時間にカウントされるということであれば、平日の空き時間に繋がるのではないかと思います。

三幣教育長

アメリカなどで行われているサマーキャンプのように、夏休み期間中に大房少年自然の家でプログラムに基づいて過ごすことで総合的な学習の時間としてカウントすることができるので全体的な時間の見直しにも繋がると思います。

以前、旧和田町でネイチャースクールというものを行っていましたが、このネイチャースクールを利用する方の多くは都会の子ども達でしたが、地元の子がネイチャースクールで体験できる内容を実際に経験したことがないということだったので地元でも取り入れましたが、全市的にこのような取組みを行っていかなければならないのではないかと考えており、1日5時間授業の日を週2～3日設けることによってこのような活動の時間に充てることができるとも考えております。

石井委員

南房総学は小学校1年生から中学校3年生まで地元の事だけを学んでいるのでしょうか。例えば、中学生になったら市内他地区のことも勉強することができれば大人になった時に役立つのではないかと思います。

岡崎委員

三芳の子は農業に触れる機会は多くありますが、クジラの解体などは見たことがない子どもも多くいるので非常に良いことだと思います。

石井市長

話題は変わりますが、教育相談業務が増えてきているということで非常に危惧しております。

岡崎委員

コロナ禍による影響もあるのでしょうか。

三幣教育長

昨年の緊急事態宣言発令に伴う休校明けは相談が多かったです。

石井市長

年々相談件数が増えている状況だがどうすれば良いか苦慮している。

三幣教育長

母親が妊娠した段階から相談活動を始めるということが1つ挙げられると思いますが、精神状態が不安定な母親である場合にはその後も色々と係わっていくということ、また保育所が愛着を形成するんだという意識を強くして保育活動に取り組むというようなことが考えられるのではないかと思います。

安田参事

1年で完結するという事はないので、継続して対応している中で新規の相談が積み重なって、結果相談件数の累計が増えている状況になっているのですが、毎年の新規相談件数自体はそれほど変わりはないのですが、他市他県から市内の児童養護施設を經由して心配な事例が増えているということはありません。

庄司委員

娘が学生時に発達臨床心理学を研究しており、発達障害と性的マイノリティの関係について調べていました。LGBTが要因で社会に居づらいなどの要因が潜んでいる可能性があるため、先生方が多様性を認める対応の仕方をされている時代になってきていると思います。

石井市長

社会全体で意識改革をしなければならない事だと思います。

小宮教育長職務代理者

資料2 1 ページの「懸念される課題」の中で、「学校が楽しくない」「我慢だらけ」「なんとなく不安」という子どもの声が増加しているとありますが、ある先生の理科の授業は非常に楽しく、教材研究を行い教科の本質を押さえて子ども達の認識にあわせた資料の提示や実験を行うことで子ども達が理解してくれるのではないかとこの組み合わせがしっかりできているので授業が楽しい。このような授業であれば子ども達も興味を持って理解度が上がり授業が楽しくなると思います。

今回の1日5時間授業の日を週2～3日設けることによって、先生方がゆとりを持って授業の研究をすることが可能になれば変化が生まれてくるのではないかと考えます。

石井市長

個人差はあると思いますが、良い先生の授業を学んで参考にすることは今でも行われているのですか。

小宮教育長職務代理者

行われてはいますが、以前に比べると非常に少なくなっています。

三幣教育長

嶺南小では先生方が学ぶ機会を作るために、掃除の時間や昼休みを削って繰り上げて

おり、苦勞して時間を作り出しています。学校が楽しいということは勉強が分かるということが大前提にあると思います。

8 閉 会 水島教育次長が閉会を宣言